

## 健康・生活

・健康的で安全な生活を送るための支援

来退所時の挨拶

身支度

活動前後準備や片付け

掃除当番など手伝い

食事

排せつ等

## 運動・感覚

・身体の動かし方や感覚の使い方を身につけるための支援、身体操作

療育活動

粗大運動

手指動作

ヨガ

リズム運動

散策

沢登り

ボート、カヌー-活動

## 人間関係・社会性

・集団での活動や、他者との関わりを通して  
ソーシャルスキルの獲得、向上を目指します。

他利用者、職員、ボランティア、  
地域の方々との交流（キャンプ、  
お菓子配りやクリスマス会など）

## 認知・行動

・眼からの刺激で脳を活性化し子どもの認知機能の発達を支援する、行動の偏りや困りごとをの解消を目指す。

当日利用児童、活動予定の張り出し

朝の会や夕方の会

個別課題

各種活動

# 支援の内容（本人支援）

## 言語・コミュニケーション

・様々なやりとりの中から言葉だけではなく、ジェスチャーや絵カードなどそれぞれに合った方法を一緒に考えます。教える、教わる仕掛けを作り表現力を高めます。

来退所時の挨拶

自己紹介

各種活動

# 支援の内容

## 家族支援

・家庭訪問や親子活動、保護者への学習会や相談支援、研修会などを通じて保護者を支え、少しでも不安を軽減する。そのことが、こどもの安心、安定につながることを職員は理解し、意識して業務を遂行する。

### \*親子活動

集団の中での子どもたちの様子を知らせてもらう機会とする。保護者と子ども達との関りを見る機会とする。保護者間の交流促進を図り情報共有する場とする。

## 移行支援

- ・集団の中での育ちをできるだけ保障する視点を持つ。例えば、放課後児童クラブ等との連携や移行を図り、地域の一員としての役割や地域の社会活動への参加、交流が出来るよう支援する。また、将来にわたっての支援をスムーズに受けられるように就学時の段階から本人の能力や強みを引きだし、社会の中で、生きて行く力をつける。

## 地域支援・地域連携

- ・障がい者福祉サービス事業所は、社会資源であることを認識する。可能な限りあらゆる機会をとらえ、地域との交流を深め、理解と協力を得る。

# 職員の質の向上に関する取り組み

法人内に研修委員会を設け、継続的に基礎研修、実践研修、全体研修の中から、最低限必要な知識を身につけると共に、即実践できる研修、また法人内行事等を継続する中で必要な事業所間同士の協力体制を学べる機会を設けています。

## 具体的な内容

\* 基礎研修(座学) : 障害者福祉の職員または、組織人として必要な基本的な専門知識を座学で学ぶ。  
毎月1回 1時間

\* 実践研修(体験) : 実際に体験することで「危機管理」「救急法」「臨機応変な対応」「目配り、気配り」「コミュニケーション力」を学ぶ

\* 法人全体研修

\* 外部研修

\* その他 : 新任研修、学卒者研修、外部視察研修等

